



地域を育み、 大陸をつなぐ

2010～2011 年度 RI 会長
レイ・クリンギンスミス

週報

RI 第 2730 地区ガバナー 伊藤 学而
鹿児島市内分区ガバナー補佐 山下 皓三

鹿児島東南ロータリークラブ

会長 堀之内弘昭 副会長 上園哲生 幹事 上田平重樹
(例会日、場所) 毎週火曜日、鹿児島市与次郎一丁目8-10
サンロイヤルホテル Tel 099-253-2020
(事務局) 〒890-0062 鹿児島市与次郎一丁目8-10
● サンロイヤルホテル4F Tel 259-6855 Fax 259-1622
E-Mail tounanrc@alto.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.tounanrc.jp/>

第 2023 回 No.20
平成 22 年 11 月 30 日 (火)
本日のプログラム
フリートーキング

第 2022 回例会報告

会長挨拶

堀之内弘昭会長

皆様、こんにちは。本日は第 2022 回例会です。私は先週岩国の錦帯橋と宮島の厳島神社を見に行きまして来ました。錦帯橋はこれまで何回かTV等で見たことはありましたが、実際に見てみると曲線の美しい五連橋で、背後の小高い山頂には岩国城が建っており、一寸とした小京都のようでした。また天の橋立と松島と宮島は日本三景と云われておりますが、紅葉の美しいこの季節、外国人も含めものすごい観光客がし寄せて、すごく混み合っていました。両方とも震災に遭わなかった為、町家や神社、仏閣がそのまま残っております。また原爆資料館も見学しましたが、三ヶ所とも貴重な文化遺産として末永く残ることと思います。さて、本日の行事は外部卓話となっております。県警本部警視の上村武久様に「反社会的集団の実態と対応策について」卓話をして頂きます。どうぞ宜しくお願い致します。

会務報告

- 来週は祝日の為 休会 (※お間違いの無いようお願い致します)
- 次回例会 11 月 30 日 (火) 12:30~
「フリートーキング」
理事会 11 月 30 (火) 例会後



出席報告

会員数	31 名	前々回出席者	15 名
出席免除会員	2 名	メイクアップ	14 名
出席会員	19 名	出席訂正率	100%
出席率	65.5%	-	-

スマイルボックス

☆堀之内弘昭君-本日は県警察本部警視の上村武久様に「反社会的集団の実態と対応策について」の演題で卓話をして頂きます。どうぞ宜しくお願い致します。

☆上原勝君-2 週欠席しました。ニュージーランドへ行って参りました。すばらしい所でした。

本日計 5,000 円 累計 178,000 円

本日のプログラム 外部卓話

「反社会的集団の実態と対応策について」

県警本部 警視 上村武久様



<財団法人ロータリー米山記念奨学会>

世界に羽ばたけ！米山学友⑦ (ロータリーの友より抜粋)

日本人からもらった翼

日本との出会いは6歳のとき、青年海外協力隊でネパールへ赴任してきた「イシヅカ」という日本人が、自宅にホームステイすることになったのです。家族は皆忙しく、行動を共にしたのは7人兄弟の末っ子のタバさん。イシヅカさんから教わった日本の歌をクロズさみながらヤギの世話をし、日の丸がついた自転車で村を案内しました。世界で活躍する日本人の姿は少年の目にまぶしく映り、共に過ごした日々は鮮烈な印象を残しました。

イシヅカさんのように世界で羽ばたきたい

タバ家は過去に首相を出したほどの名家ですが、経済的には裕福でなく、幼い頃から毎朝水くみに行き、もったいないと叱られながら灯油ランプの明かりで宿題をする日々でした。高校生の時に母が他界。その後は父と2人暮らしでしたが、イシヅカさんの姿でした。彼のように世界で羽ばたきたい、日本に行ってみよう。願いがかなったのは、1999年。ネパールの日本語弁論大会で最優秀賞を受賞、訪日する要人の通訳として随行することになったのです。20歳のタバさんにとって、日本は始めて目にするものばかり。特に、自動販売機から飲料が出てきたときの驚きは、今も鮮明です。ただし、政府高官レベルの会話は難解で、通訳としては全く力不足でした。「日本に留学してもっと勉強しなければ」。タバさんは心に誓いました。

“心”がない日本に失望して

村の人々に見送られ、大学生として再来日したのは桜が美しい2000年4月。しかし、待っていたのは、便利さと引き換えの孤独でした。電車に乗れば自動のアナウンスが流れ、店員は機械のように同じセリフを繰り返すだけ。近所の子供に話しかければ、親が警戒心もあらわに子供の手を引っ張り、去っていきました。日本語を話せるのに、一言も話せない…。「日本には“心”がない」。大きな失望感に包まれました。「待っているだけじゃ何も起きないよ」。教授の助言を受け、思い切って近所の小学校へ手紙を書きました。「私はネパールから来た留学生です。よかったら、学校に呼んでくださいませんか?」。数ヵ月後、教室でネパールの踊りを教えるタバさんの姿がありました。再び桜の季節、近所の親子連れから花見に誘われたタバさんに、保護者はこんなお願いをしました。「タバくん、子供たちを連れて先に公園へ行っていてくださる?」。僕が、子供たちを?感激が全身を貫きました。ようやく日本の一員になれた、そう感じた瞬間でした。日本に来て驚いたのは、これほどモノがあふれているのに、皆が幸せを感じていないことでした。勉強したいと思えば本も学校もあり、昼間から電気が使える。何でも出来る環境がどれほど恵まれたことなのかを、世界の実情をもっと

若い人に知ってもらいたい。タバさんは全国を駆けめぐり、これまでに20万人以上の児童・生徒に講演を行っています。

ネパールの政府の通訳としても活躍

公式通訳に抜擢されたきっかけは04年。横浜国立大学大学院在学中のタバさんがる式典に参加した際、日本人もいる会場で在日ネパール人たちが母国語で話す光景に違和感を覚え、思わず通訳を買って出ました。それを見た大使館スタッフから、駐日ネパール大使の正式な通訳者として仕事を依頼されるようになったのです。今では大使はもとより、ネパール首相や大臣が来日した際、タバさんは欠かせない存在となっています。一方、知らない病院から「ネパール人患者の通訳をしてくれないか」と依頼され、無報酬で引き受けることも。どんな仕事でも「ありがとう」という一言、自分が役に立てたという実感が、タバさんを次の仕事へと向かわせます。米山記念奨学生になったのは、横浜国立大学大学院博士課程3年生のとき、世話クラブは、横浜たまロータリークラブでした。当時クラブ会長だった石井忠信氏は「タバ君はクラブの人気者。ユーモアを交えたスピーチも上手で、私の会長挨拶がやりづらかったほど」と、苦笑します。タバさんも「奨学生になって日本の見方が変わりました。これほど多くの人が毎週集まり、社会や世界のことを考えて行動していることを初めてしました」と、話します。

将来の夢は駐日ネパール大使

王制が廃止されたネパールでは現在、新憲法の制定と、民法をはじめとする基本法の改正に向けて作業が進められています。この民法起草を支援する JICA から指名を受け、タバさんはネパールの法整備にも協力。通訳だけでなく、ネパールの国づくりにもかかわっていきたいとの思いが強くなっています。「将来の夢はたくさんあります。まずは駐日ネパール大使。それに、これまで日本の皆さんに育てて頂いたので、ネパールで国際理解など今の時代に必要な学問を教える教育者にもなりたいし、ネパールの地方自治体の仕組みもつくりたい。でもその前に、博士豪を取って世話クラブの皆さんに嗜れ姿を見せないとね。(ロータリーの友 P32-33)



12/7(火) クラブ総会		12/14(火) 会長・幹事前期を終えて 次期会長挨拶		12/21(火) クリスマス家族会 18:30~ サンロイヤルホテル	
月/日	クラブ	例会場	プログラム(△変更)		
12/1 (木)	鹿児島南	サンロイヤル	△夜間例会		
	鹿児島西	山形屋	△クリスマス家族会 18:30~城山観光ホテル		
	鹿児島南	ゆうづき	会員卓話		
12/2 (木)	鹿児島東	山形屋	年次総会(家庭集会報告)		
	鹿児島北	鹿児島東急ホテル	年次総会 次々年度会長選出 次年度理事4名選出		
	チクワバ	鹿児島東急イン	年次総会		
12/3(金)	鹿児島	山形屋	青少年功績賞授賞式		
12/6(月)	鹿児島中央	山形屋	職業紹介シリーズ 横濱義弘会員 新入会員自己紹介 三本博樹会員		
12/7(火)	鹿児島南	鹿児島東急イン	クラブ協議会(上期報告・下期報告)		